

平成26年度 病害虫発生予察情報 注意報 第1号

平成26年5月9日
発表：福島県病害虫防除所

- 1 対象作物：モモ
- 2 病害虫：モモせん孔細菌病
- 3 対象地域：中通り
- 4 発生量：多い

予報の根拠

- (1) 5月上旬の調査において福島地域、伊達地域ともに春型枝病斑の発生ほ場割合が平年より高かった(図1)。また、中通りの他地域でも発生が確認された。
- (2) 伊達地域における前年秋季(9月下旬)の新梢葉での発生ほ場割合が平年よりも高かったことから(図2)越冬菌密度は高いと考えられ、今後の春型枝病斑の発生量は増加すると予想される。
- (3) 春型枝病斑の発生量が多いと新梢葉の発病も多くなるので、今後の本病の発生には十分注意する必要がある。

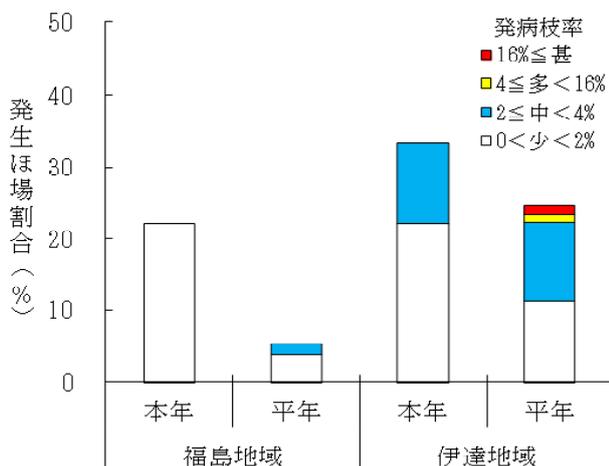


図1 春型枝病斑の発生状況(5月上旬)

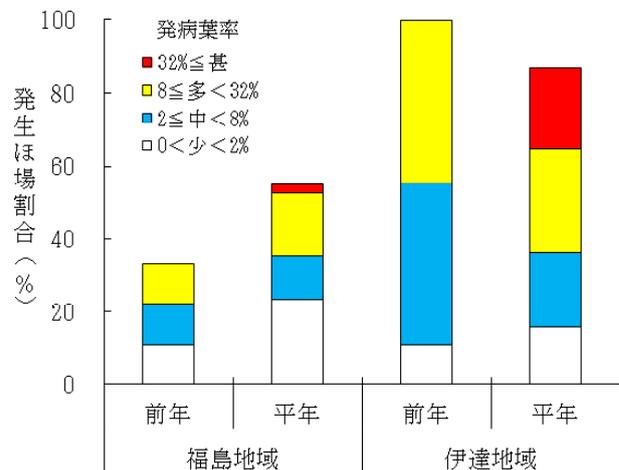


図2 前年秋季の新梢葉における発生状況(平成25年9月下旬)

防除対策

(1) 耕種的防除

春型枝病斑は葉や果実への伝染源となるので、見つけしだい除去して適切に処分する。例年果実被害が多いほ場では、6月15日頃までに袋かけを行う。

(2) 薬剤防除

落花期から7月まで10日ごとに薬剤散布を行う。その際は薬剤の使用濃度、収穫前日数に十分注意する。また、同一薬剤の連用は耐性菌の出現のリスクがあるので、連用せずにローテーションで使用する。

●情報内容への質問や要望は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課(病害虫防除所)までご連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727